

## ボリビアの飲料水供給に貢献、レアックス社（札幌市）

－井戸診断技術の導入・普及により給水施設の長寿命化促進維持管理能力の向上を図る－

国際協力機構（JICA）は、2017年1月27日に北海道札幌市の株式会社レアックス（亀和田俊一社長）が提案した『ボリビア国効果的な診断・改修による井戸の長寿命化普及・実証事業』の委託契約を締結しました。

ボリビア国では、従来から貧困地域や地方部において飲料水供給率が低く国家的な問題となっており、日本政府はこの問題解決のため長年にわたり水資源開発を中心とした技術協力を行ってきました。しかしながら、ボリビア国側の給水関連施設に対する維持管理は依然として適切とは言えない現状にあり、特に井戸は地下構造物のため日頃目に触れることがないため維持管理が適切に行われおらず、昨年11月21日には、モラレス大統領が「水不足にかかる国家非常事態宣言」を発出しました。

本事業では、レアックス社は自社で開発した井戸内部を可視化できるボアホールカメラ（i-Do300FII）を使用して、井戸診断と適切な改修により既存井戸の長寿命化を行います。これらの活動はボリビアの技術者等と行い、技術移転も行う予定です。同社は本事業を通じて、既存の井戸の維持管理能力が向上する可能性を実証し、将来的にはボリビア国のみならず広くビジネス展開を図ることを目指しています。



（井戸内観察の様子）

本「普及・実証事業」は、途上国の開発課題に対し日本の中小企業の優れた製品・技術等の現地適合性を検証し、将来的なビジネス展開を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、通常年2回（2月頃、9月頃）公示が行われます。

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 北海道(札幌) 市民参加協力課 笥(かけい)

Tel. 011-866-8421

Email: Kakei.Katsuhiko@jica.go.jp